

『はじめていやーさい ウチナー』

横浜市立本郷中学校 二年

杉田 蘭名

昔、琉球王国が存在していた、私にとっては未知の世界、沖縄。今日はその沖縄への旅行の当日だ。期待に胸を膨らませながらいざ出発！

今回の旅行では人生四回目となる飛行機に乗ることになった。初めて乗ったのにすぐ機内で寝てしまった保育園の時。北海道旅行でくつろぎながら乗った二回目と三回目の時。今日は初めての沖縄旅行。プランに目を通しながら、二時間二十分という空の旅を楽しんだ。

沖縄に到着し、まず初めに訪れたのは、世界遺産にも登録されている『首里城』だ。一四二九年、尚巴志しやうはしによって三つに分断されていた地域が統一された。その後、四五〇年間にわたって首里城は歴代国王の居城だった。沖縄の歴史、文化を象徴するような城で、首里城の歴史は沖縄の歴史そのものだといつくらいにすごいものだ。こんなにも歴史のたくさん詰まったところを、私は今まで見たことがなかった。

いろいろな人が訪れる場所だったからだろうが、門の数が実に多い。豪華で綺麗な中国の使者を迎えるための守礼門しゆれいもん、首里城に入る第一の正門歡会門かんかいもん、内側から木造造りが良く分かるめでたい泉すいせんもん、とても驚いたのだが、門の上の水槽から水が漏れる量で時間を測ったといわれる漏刻門ぬいこくもん、中央部の屋根を高くして門を設けている広福門。これらの門

はすべて木造造りだ。その他にも、行催事を行う南殿、現在の議事堂にあたる行政施設の北殿などがある。

一番感激したのは正殿だ。せいでん琉球王国最大の木造建築物。とても大きくて、琉球の象徴であっただけに立派だ。首里城は、建物のすべてが赤と書いていいほど明るく、行く先々でその明るさに目を奪われ、新鮮な感じがした。こんなにも明るい色をたくさん使っている建造物を初めて見た私は、驚いてしまった。次に、首里城の一部である『園比屋武御嶽石門』そのひやんうたきいしもんへ行つた。ここは、木製の門扉を除いてすべて石造りで、木造建築の特徴を表現している。石でできている門には、ずっしりとした重みがある。

午後は、『王陵』たみうりょうに向かった。国の重要文化財に指定されているところだ。破風墓とは、屋根のつくりが破風型をしている墓で、琉球王朝の時代から伝えられている。そして、その後の庶民の墓にその形式が取り入れられた。宿に行き、明日の旅に備えた。

二日目。朝食後出発！まずは、『中城城跡』なかぐすくじへ。中城城は中山王と共に戦い琉球統一に大きな功績を残した護佐丸によって築かれたとされているという。十九世紀にここを訪れたペリー提督は、アーチ門や石積みいしづみの技術の高さや美しさを絶賛したといわれているだけにとても美しく、そして歴史が深いところだと感じた。この後は昼食を摂り、『斎城御嶽』せいはいのうたきに向かった。ここは琉球第一の墓地で、琉球王朝時代には毎年二回、国王自ら参拝に訪れたという神聖な場所だ。敷地内は、うっそうと木々が繁る神秘的な雰囲気ですしどきどきしてくる。王が年に二回も訪れていたことには驚いた。

その神秘的な雰囲気を感じ取りながら、二日目の旅を終わりにした。この

後、宿に戻り、遠くまで行って疲れた体を休めた。

さあ、いよいよ三日目。朝食を摂ったら、世界遺産に登録されている『しき識名園』へ行った。ここは、池の周りを歩きながら景色の移り変わりを楽しめる庭園で、国王一家の保養のために建てられたものだ。王を案内した場所からも庭がとても素敵に見えるようにできていて、昔から多くの人の心を和ませるように造られていた。見終わった後は朝食を摂り、帰路に着く。

「ふわあ〜。ん？」 どうやら私は、パンフレットを見ながら眠ってしまったらしい。ついに明日は旅行当日！初めてとは思えない沖縄に親しみを込めて、『はじめていちゃ〜さい、ウチナー』